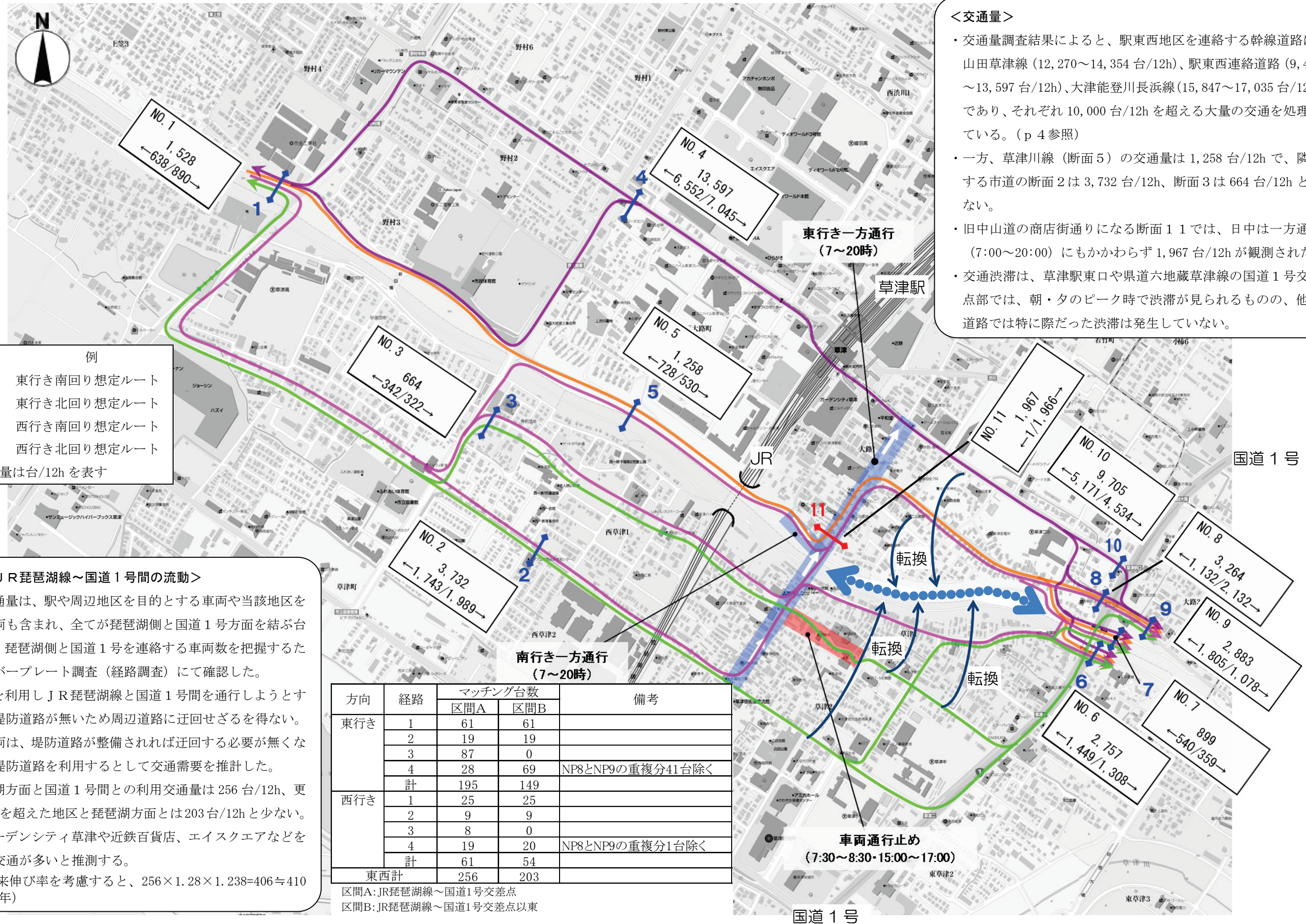


草津川跡地利用基本計画 交通量調査と道路状況調査

目 次

1. JR 琵琶湖線から国道 1 号間の交通状況 1
2. 道路規制状況図 2
3. 道路現況図（車道） 3
4. 既往交通量調査位置図（自動車） 4
5. 既往交通量調査位置図（歩行者） 5

JR 琵琶湖線から国道 1 号間の交通状況 (平成 23 年 9 月 8 日実施) について



<交通量>

- 交通量調査結果によると、駅東西地区を連絡する幹線道路は、山田草津線 (12,270~14,354 台/12h)、駅東西連絡道路 (9,480~13,597 台/12h)、大津能登川長浜線 (15,847~17,035 台/12h) であり、それぞれ 10,000 台/12h を超える大量の交通を処理している。(p 4 参照)
- 一方、草津川線 (断面 5) の交通量は 1,258 台/12h で、隣接する市道の断面 2 は 3,732 台/12h、断面 3 は 664 台/12h と少ない。
- 旧中山道の商店街通りになる断面 11 では、日中は一方通行 (7:00~20:00) にもかかわらず 1,967 台/12h が観測された。
- 交通渋滞は、草津駅東口や県道六地藏草津線の国道 1 号交差点部では、朝・夕のピーク時で渋滞が見られるものの、他の道路では特に際だった渋滞は発生していない。

凡 例

- 東行き南回り想定ルート
- 東行き北回り想定ルート
- 西行き南回り想定ルート
- 西行き北回り想定ルート
- 内の交通量は台/12h を表す

<堤防道路の JR 琵琶湖線～国道 1 号間の流動>

- 観測した交通量は、駅や周辺地区を目的とする車両や当該地区を通過する車両も含まれ、全てが琵琶湖側と国道 1 号方面を結ぶ台数ではない。琵琶湖側と国道 1 号を連絡する車両数を把握するために、ナンバープレート調査 (経路調査) にて確認した。
- 現在、堤防を利用し JR 琵琶湖線と国道 1 号間を通行しようとする車両は、堤防道路が無いと周辺道路に迂回せざるを得ない。これらの車両は、堤防道路が整備されれば迂回する必要がなくなることから堤防道路を利用するとして交通需要を推計した。
- 結果、琵琶湖方面と国道 1 号間との利用交通量は 256 台/12h、更に、国道 1 号を超えた地区と琵琶湖方面とは 203 台/12h と少ない。多くは、ガーデンシティ草津や近鉄百貨店、エスクエアなどを目的とする交通が多いと推測する。

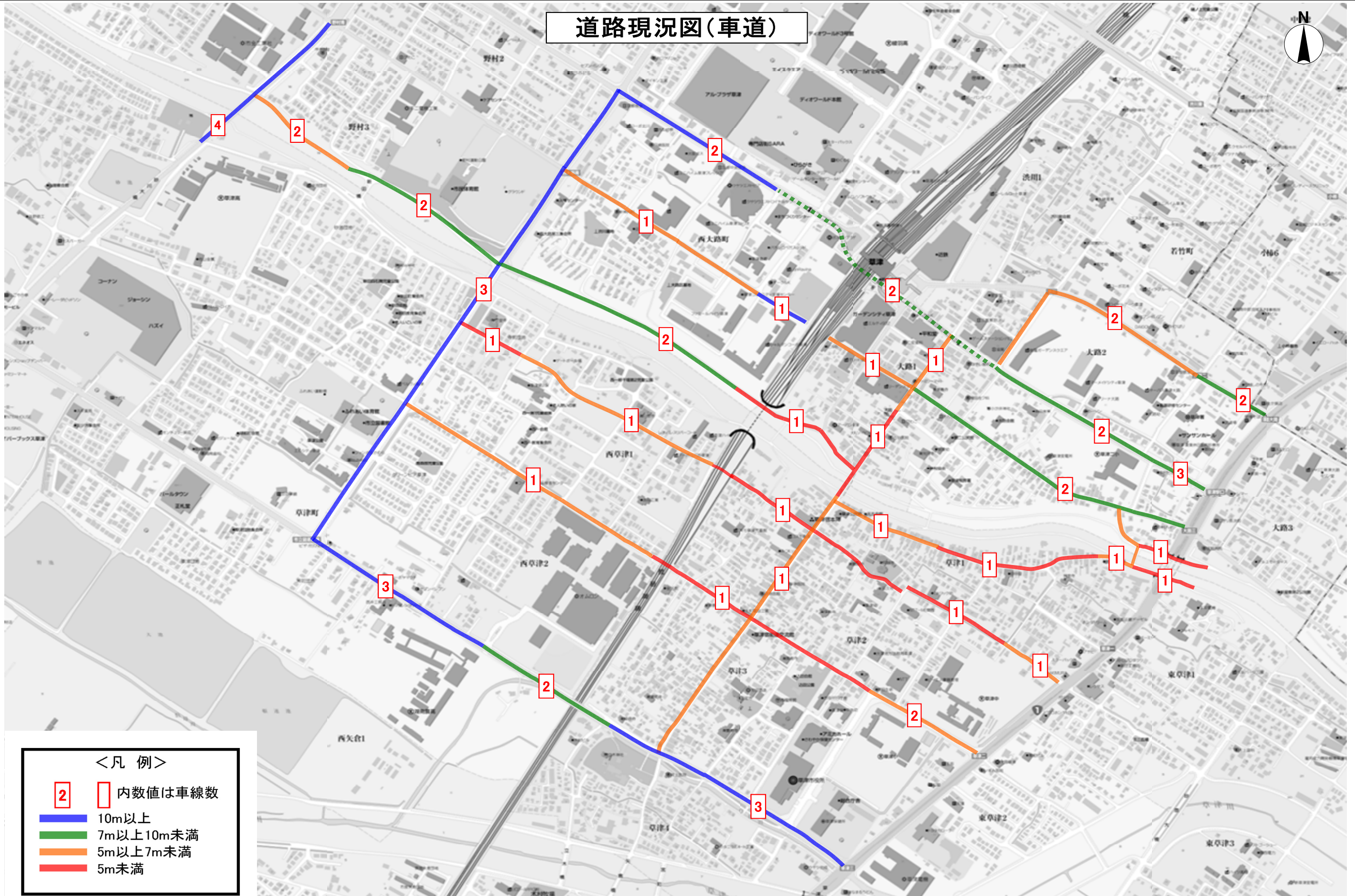
昼夜率、将来伸び率を考慮すると、 $256 \times 1.28 \times 1.238 = 406 \approx 410$ 台/日 (H42 年)

方向	経路	マッチング台数		備考
		区間A	区間B	
東行き	1	61	61	
	2	19	19	
	3	87	0	
	4	28	69	NP8とNP9の重複分41台除く
	計	195	149	
西行き	1	25	25	
	2	9	9	
	3	8	0	
	4	19	20	NP8とNP9の重複分1台除く
	計	61	54	
東西計		256	203	

区間A: JR琵琶湖線～国道1号交差点
区間B: JR琵琶湖線～国道1号交差点以东

道路現況図

道路現況図(車道)



<凡 例>

2 内数値は車線数

— 10m以上

— 7m以上10m未満

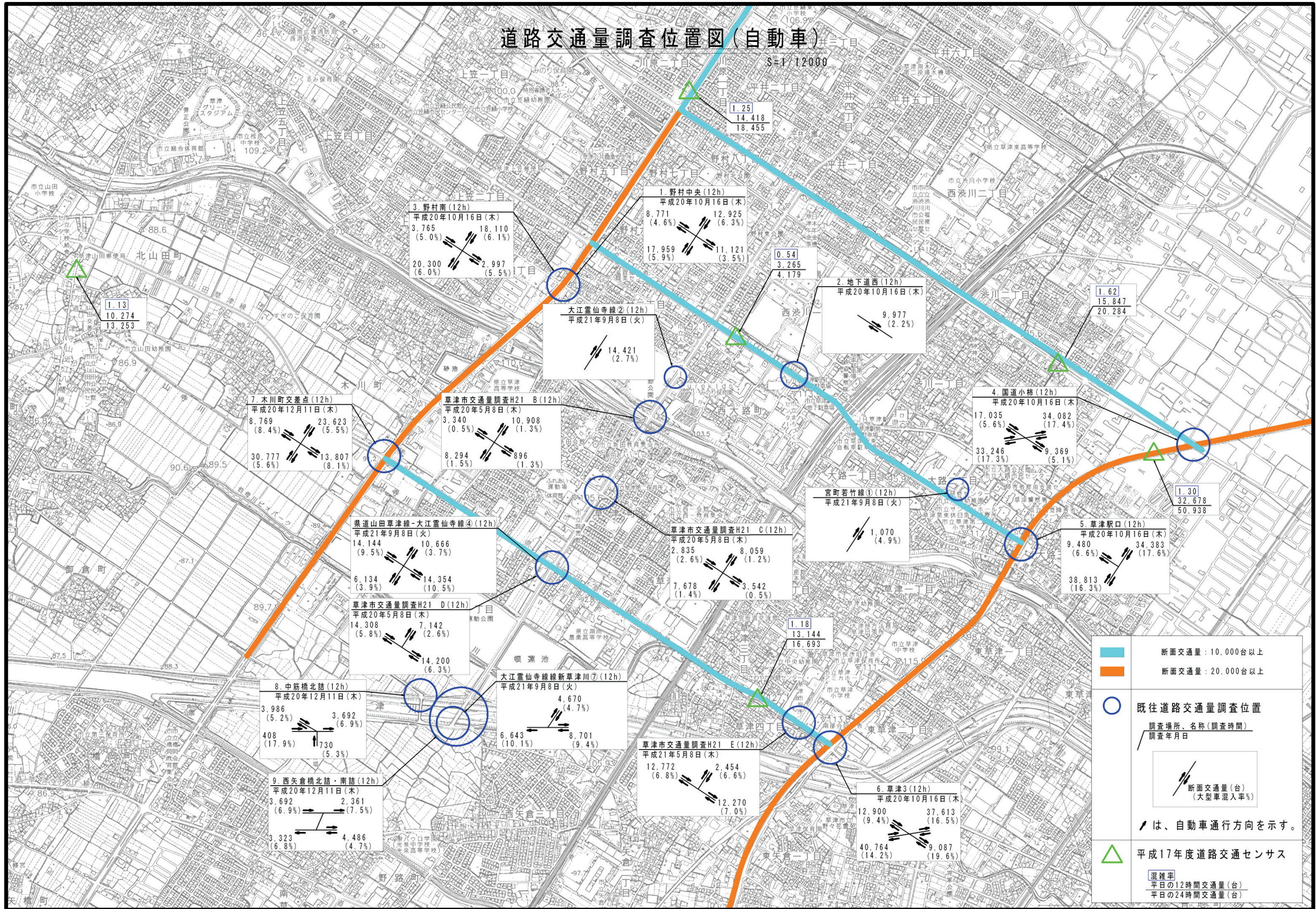
— 5m以上7m未満

— 5m未満

既往交通量調査位置図（自動車）

道路交通量調査位置図（自動車）

S=1/12000



既往交通量調査位置図（歩行者）

